

「北区環境基本計画 2023(案)」のパブリックコメント実施結果

1. 意見提出期間 令和4年10月3日(月)～令和4年11月1日(火)
2. 周知・閲覧場所 北区ニュース(10月1日号)、北区公式ホームページ、環境課、区政資料室、各地域振興室
3. 意見提出者数 7名(内訳: ホームページ 6名、郵送 1名、FAX 0名、窓口持参 0名)
4. 意見総数 61件 ※類似の意見はまとめさせていただきました。

5. パブリックコメントによる内容の修正箇所

掲載箇所	修正前	修正後											
48ページ 基本目標1 基本施策(1)	□部門別・対策項目における削減可能量試算結果 運輸部門 対策項目 エコドライブ、自転車利用促進	□部門別・対策項目における削減可能量試算結果 運輸部門 対策項目 <u>エコドライブ、徒歩、自転車、公共交通機関</u> <u>の利用促進</u>											
61ページ 基本目標1 基本施策(2) 3. 成果指標 (同、128ページ)	—	以下、成果指標を追加 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">項目</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">目標</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">現状値</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">数値</th> <th style="text-align: center;">年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">「マイ・タイムライン普及 リーダー」登録者数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">増加</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">R3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	現状値		数値	年度	「マイ・タイムライン普及 リーダー」登録者数	人	増加	11	R3
項目	目標	現状値											
		数値	年度										
「マイ・タイムライン普及 リーダー」登録者数	人	増加	11	R3									
105ページ 基本目標5 基本施策(1) 4. 北区の取組み②	◇環境情報に関する双方向コミュニケーションの充実 SNSの活用、映像コンテンツの配信(YouTube)など、 双方向性のある情報発信を強化し、～	◇環境情報に関する双方向コミュニケーションの充実 会場参加型の講習会のみならずウェビナー等を用いた映 像コンテンツの配信やSNSの活用など、双方向性のある 情報発信を強化し、～											

123 ページ 重点施策 基本施策(11) ②	「施策」環境情報の双方向受発信 ・SNSの活用、映像コンテンツの配信（YouTube）など、 双方向性のある情報発信の活用を図り、～	「施策」環境情報の双方向受発信 ・会場参加型の講習会のみならずウェビナー等を用いた映像 コンテンツの配信やSNSの活用など、双方向性のある情 報発信の活用を図り、～
-------------------------------	--	---

6. 提出された意見の要旨とそれに対する区の考え方

(1) 第3章について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
1	交通関係は「電気自動車（燃料電池自動車）の普及」の記載しかないが、徒歩・自転車・公共交通の移動の利便性が向上し、自動車に頼らない生活が送れる将来イメージを目指すべきである。	1	10年後の将来イメージを実現するための取組みとして、基本目標(1)北区の取組み③「脱炭素まちづくりの推進」内、「移動における脱炭素化の促進」に「～公共交通機関や自転車、徒歩により快適に移動ができる利便性の高いまちづくりを推進します。」として取り組んでまいります。

(2) 第4章 基本目標1「気候変動に適応し、脱炭素を実現するまち」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
2	「部門別・対策項目における削減可能量試算結果」の運輸部門に「公共交通利用促進」を加えて頂きたい。エコドライブや自転車利用促進と同様に、自動車からのCO2削減に大きく寄与する項目である。	1	算出に参照した「北区の環境に関する意識・意向調査」では、エコドライブ、自転車利用促進の他、徒歩や公共交通機関の利用を質問事項として設定し、削減可能量を試算したため、本項目内に公共交通機関の利用も含まれております。 文言を修正させていただきます。
3	太陽光発電施設の導入は東京都も推進していますが、もっと慎重になるべきです。環境アセスメントの観点から見て、使用する希少金属の入手先の作業環境問題や使用済み廃棄物の適正処理ルート確保とコスト等に至るまで、諸問題が解決してから導入を決めるべきです。	1	経済財政運営と改革の基本方針 2021 において「再生可能エネルギーの主力電源化を徹底し、再生可能エネルギーに最優先の原則で取り組み、国民負担の抑制と地域との共生を図りながら最大限の導入を促す。」とされたこと、また、同 2022 においても「脱炭素効果の高い電源を最大限活用する。」とされたことを踏まえ、

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
			環境保全に配慮され、地域のレジリエンスの向上などに役立つような太陽光発電設備をはじめとする再エネ等設備の導入を推進してまいります。
4	WHO は冬の室内温度として 18 度以上を勧告しており、全館暖房による実現のため、またゼロエミッションの観点から ZEH ではなく、断熱等級 5 (HEAT20 G2) を目指してほしい。	1	国土交通省の示す住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能表示制度では、ZEH 水準としての断熱性能等級 5 (北区を含む地域区分 6 では U_A 値 ≤ 0.60) を想定しております。断熱性能等級等を含め、より良い住環境の実現に向けた施策を検討してまいります。
5	既存住宅 (賃貸住宅含む) の断熱リノベーションについても対象としてほしい。私の住んでいる賃貸マンションは窓際・壁際に立つと明らかに冷気を感じる。	1	基本施策(1)、北区の取組み①「省エネルギーの推進」内、「建築物の省エネルギー促進」として建築物の増改築時においても省エネルギー化に配慮した建物・設備とするような普及啓発を進めてまいります。 なお、現在環境課にて実施している「新エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成事業」では、賃貸住宅 (要・所有者の同意、その他要件あり) についても窓の断熱改修をはじめとした本助成制度を利用することが可能です。
6	移動における脱炭素化の促進については、次世代自動車の普及よりも、移動の利便性向上による環境負荷低減を優先すべきで、項目の順序を入れ替えて頂きたい。電気自動車は燃料が石油から電気に置き換わるだけで、移動に伴うエネルギー消費の効率は、鉄道・バス・自転車に勝ることはない。	1	本計画では掲載順による施策の優先度を設定しておりません。施策のあり方や内容については、北区の現状を踏まえ、北区環境審議会各専門部会におけるご意見等を参考とし、北区環境審議会での審議の上、掲載しております。
7	移動の利便性向上による環境負荷低減のためには、徒歩・自転車・公共交通で基本的な生活ができることを前提としたコンパクトなまちづくりが必要である。これは「北区都市計画マスタープラン」や東京都の「都市づくりのランドデザイン」で、まちづくりの	1	本計画では、他計画との整合も含め、環境面で打ち出せる地域・コミュニティのあり方の一つとして「スマートコミュニティの推進」を掲げ、あわせて「再開発や公共施設の更新などまちづくりの機会を捉えたスマートコミュニティの検討」を重点施策として

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	大きな方針として明記されており、脱炭素化、省エネ化や自動車公害対策としても根本的な解決手段であることから、環境基本計画の施策もこれらと整合をとるべく記述して頂きたい。		取り組んでまいります。
8	二酸化炭素削減、北区民雇用促進の為に、事業の発注や物品を購入する場合は地元事業者を優先した方が良いと思います。	1	現在環境課にて実施している「新エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成事業」における一般用メニューでは、区内業者による設置・施工による助成金額の加算を導入しております。今後もカーボンフットプリントを念頭に置いた施策等の検討を進めてまいります。 また、区内事業者における環境に配慮した行動の実践に向け、基本施策(9)、北区の取組み②にありますように、環境経営の推進・支援等を進めてまいります。
9	鉄筋造り、鉄骨造りは木造住宅に比べ高炭素であることが問題となっている。不燃化木材や塗料による住宅を普及させる必要がある。	1	炭素の固定化という点におきましても建築物等への国産木材の活用は重要と考えております。森林環境譲与税を活用した公共施設への国産木材の使用の推進等、率先垂範として取り組んでまいります。
10	北区は緑や水辺が多く、住み心地がよい町だと感じている。 一方で古くから水害の多い土地であり、地震や台風などの自然災害があったときに川が氾濫しないか不安に感じている。 自然の豊かさを守ることと自然災害への対策を両立する施策を期待しています。	1	基本施策(2)、北区の取組み①「自然災害対策の推進」及び基本施策(3)、北区の取組み③「災害に強く、住み続けられるまちづくりの推進」に掲げておりますように、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めてまいります。 また、施策におきましても「『防災×環境』教育の推進」や「防災に寄与するまちづくり・緑地等の整備」を重点施策として取り組んでまいります。
11	ヒートアイランドについては、風や気温など気象観測、風の道に配慮したまちづくり、公共施設の緑化推進といった、区が主体となって行うべき施策が数多くある。また、ヒートアイランド同様	1	基本施策(2)、北区の取組み③「区民生活への影響対策の推進」として「ヒートアイランド対策の推進」を進めてまいります。 また、風害や日照障害等の個別の事案に対する対応につきまして

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	大都市特有の問題である風害や日照阻害についても、観測・調査や対策が必要である。		は、国や都、他自治体の動向を含め注視してまいります。
12	「マイ・タイムライン作成講座参加者数」に加え、「マイ・タイムライン普及リーダー登録者数」を指標に加えて頂きたい。	1	ご意見を踏まえ、成果指標に「マイ・タイムライン普及リーダー登録者数」を追加いたします。

(3) 第4章 基本目標2「安全・安心で、快適に暮らせるまち」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
13	WHO 欧州が 2018 年に出した環境騒音ガイドラインに準拠したものを北区でも出して、環境先進都市になってほしい。	1	騒音規制につきましては、騒音規制法や都民の健康と安全を確保する環境に関する条例など、法律や条例に基づき行ってまいります。
14	大気汚染、気象、放射線、水質などの観測は、機器があれば区民自ら行うこともできる。区民自身による観測調査は、身近な環境保全意識を高める啓発には最適であることから、機器の貸与や財政的支援などを区として推進して頂きたい。	1	機器を用いての正確な測定には、その測定方法や精度管理等様々な専門的知識が必要になると考えられます。測定機器等の情勢について今後も注視してまいります。
15	「インフラ・ライフラインへの影響・対策の推進」の中に「都市計画道路の整備」の文言があるが、沿線住民への生活環境の負荷は増大し、環境保全とは逆行するものであり、区内でも反対運動や裁判で争われている路線もある。都市計画道路の整備は今一度必要性を見直し、かつ住民合意を前提とすべきであり、環境基本計画からは「都市計画道路の整備」の文言は削除すべきである。	1	ご意見の主旨から本計画本体ではなく、個別の事業に関してのご意見と推察されますので、事業所管課に情報共有させていただきます。
16	ウォークブルなまちづくりについて	計 6	ご意見の主旨から個別の事業・ガイドラインに関してのご意見と推察されますので、事業所管課に情報共有させていただきます。
	指標としてどのようなものを採用するのか、また、その理由及び根拠は何か。	2	
	自動車交通のために歩行者導線をねじ曲げ遠回りさせる様なものではなく、歩行者の利便性、多様な歩行経路を提供するま	2	

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	ちづくりが重要である。		
	通過交通をまちなかの外に誘導し、人中心の空間を創出し守る必要がある。	1	
	基本はジェイン・ジェイコブスである。	1	
17	審議会委員は「ウォークアブルシティ入門」ジェフスペック著（学芸社）や国交省「まちなかウォークアブル推進プログラム」を暗黙知として審議を。	1	北区環境審議会における資料につきましては、ご推薦いただきました文献に関わらず、円滑な審議会運営及び各委員の希望に添えるよう、精査、提供してまいります。

(4) 第4章 基本目標3「資源循環の輪をつなげるまち」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
18	ごみの減量と資源リサイクルの推進を考えると、家庭ごみの「有料化」ごみと資源物の「戸別回収」は欠かせない議題です。議論されたのでしょうか。	1	ご意見の主旨から本計画本体ではなく、個別の事業展開に関してのご意見と推察されます。 なお、本件については「東京都北区資源循環推進審議会」において、現在議論されている事項と捉えております。
19	区行政が率先してサーキュラーエコノミーを心がけるならば、ペットボトルの自動販売機を庁舎内には置かないぐらいの具体案が欲しいです。	1	ご意見の主旨から本計画本体ではなく、個別の事業展開に関してのご意見と推察されます。 なお、現在「(仮称) 北区役所ゼロカーボン実行計画」として北区役所における地球温暖化対策について具体的な取組みを含めた検討を行っているところです。
20	「地産地消」を提言していることを評価します。	1	ご理解いただきありがとうございます。
21	プラスチック分別リサイクル開始について、リサイクルにより省資源、省エネルギー等に資する事を示す根拠を示すべきである。	1	環境省「中央環境審議会 循環型社会部会 プラスチック資源循環小委員会」における参考資料（令和3年11月開催）によれば、「容器包装リサイクルルートでリサイクルした場合のCO ₂ 削減効果は、同量を自治体の焼却施設において発電/焼却した場合のCO ₂ 削減効果の2倍以上」とされています。

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
22	プラスチック分別回収により、可燃ゴミの焼却に燃料投入が必要になったとか、回収されたプラスチックの行く先がないとかという話も聞くが、真相は。	1	北区が家庭から排出される可燃ごみを搬入する東京二十三区清掃一部事務組合が運営する清掃工場においては、プラスチックの分別回収による影響での燃料投入は必要ないと認識しております。あわせて、北区が分別回収するプラスチックについては、容器包装プラスチック・製品プラスチックともに、回収量を踏まえた処理ルートを確認しております。
23	分別されたプラスチックが何にどうリサイクルされたかを公開すべきである。	1	どのようにリサイクルされていくのかという理解は、区民の皆さまに資源化にご協力いただくうえでも大切な要素であると認識しております。分別回収開始に向けた説明会等でも周知を図っており、今後も、資源化事業者と調整のうえ、情報発信に努めてまいります。
24	ごみ排出現場では様々な問題が発生しています。現場の跡始末を自発的に行っている人の高齢化や排出者不明の不法投棄物の増加等、極めて深刻です。現場に携わる者の意見を吸い上げてください。	1	北区清掃協力会や北区リサイクラー協議会との懇談等を通じ、ごみや資源の収集・回収現場に携わっている方々との意見交換を行っております。問題のある集積所等については、看板の設置や警告シールの貼付、周辺住宅へのビラの投函など、きめ細かい指導を行っています。
25	減災の一端として、清掃収集作業を警戒レベルによりタイムライン化し「レベル0が発表された時点で中止となる」等のルールを制定し、収集作業員の安全を確保していただきたい。	1	風水害への対応のひとつとして、ごみや資源の収集・回収に関する事業者等とも調整のうえ、BCP（事業継続計画）の検討を進めるとともに、区民の皆様への周知方法等についても検討してまいります。

(5) 第4章 基本目標4「身近な自然を守り育て、活用するまち」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
26	緑の災害時の防災機能として、「グリーンインフラ」の考え方が自治体の各種計画に盛り込まれつつある。北区でも「グリーンイン	1	グリーンインフラにつきましては、P.34の全体図の中で緑の活用としての記載をはじめとして、基本施策(8)の2. 課題にも掲げ、

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	「フラ」の考え方を導入すべきである。		関連計画である「北区緑の基本計画 2020」とともにその活用を進めてまいります。
27	「うるおいのある水辺環境づくり」の中に「荒川緑地：豊島ブロック」の例示はあるが、区民が水辺に親しめる機会と場としては豊島ブロックよりも、「北区・子どもの水辺」が区内最大級である。環境学習の場として、小学校や大学の授業、北区環境リーダー養成講座、荒川知水資料館など多くのプログラムに組み込まれ、北区を代表する重要な自然環境保全・環境学習の拠点となっている。「北区・子どもの水辺」を本計画に例示して頂きたい。	1	「子どもの水辺」につきましては環境学習の拠点として、基本施策(10)「環境教育・環境学習の推進」の1.現状でその活用を取り上げております。 また、基本施策(10)①「学校における環境教育の推進」の重点施策「SDGsにつながる環境教育の推進」(P.122)の施策内容におきましても地域資源の例として取り上げております。
28	「区内で確認した植物/鳥類/魚類の種類」は種数が維持できても、外来種が増加し在来種が減少してしまえば、生物多様性が維持されたとは言い難い。外来種・在来種別の種数や割合を指標に加えて頂きたい。	1	基本施策(7)「豊かで質の高い緑・水辺の保全」における全体の指標として「区内で確認した植物/鳥類/魚類の種類」を設定しております。外来種や在来種数の把握等につきましては、河川生物生息調査や野鳥調査等の個別の事業で確認してまいります。
29	都市内の公園で生物多様性を維持する上では、植栽、除草、清掃、水管理などの維持管理と、動植物等の調査・モニタリングを区民レベルで継続的に取り組む仕組みの構築が成否の鍵を握る。特に外来種駆除や水位操作など専門的知識が必要な管理もあるため、専門家との連携も必要となる。これらの施策は、p91の「緑に関する学びを通じた環境学習の推進」の一環として推進して頂きたい。	1	今後の事業及び施策展開の際には頂いたご意見を参考とさせていただきます。
30	樹木の剪定は骸骨剪定をやめ日本庭園を除きもっと自然な樹形を目指すものに改めてほしい。	1	基本施策(7)、北区の取組み①「良好な環境を形成する緑の保全」及び②「生物多様性の保全と回復」として掲げ、樹木の適正管理や緑の保全・創出を進めてまいります。
31	街路樹の樹冠を日本橋等のように大きくする剪定をして、夏の木陰を作ってほしい。	1	基本施策(8)、北区の取組み②「まちなかの緑化推進」内、「公共空間における緑化の推進」及び基本施策(2)②「健康被害対策の推

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
			進」内、「暑熱対策となる設備等の整備」にありますように、沿道敷地の接道部緑化や街路樹整備による緑陰形成などにより快適な歩行空間の創出を進めてまいります。

(6) 第4章 基本目標5「環境活動の大切さと楽しさを分かち合い、未来へ共創するまち」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
32	「有害化学物質等への対策」の取組みが事業所・工場などへの指導・助言のみとなっているが、区や区民自らが取り組むべきこととして、有害物質を最初から購入しない努力が必要である。区の様々な調達（物品・工事）においてグリーン購入法に配慮すること、特にダイオキシンの原因物質である塩ビ製品を使用しないことなどを施策として盛り込んで頂きたい。	1	基本施策(9)、北区の取組み①「環境負荷の少ないライフスタイル・ワークスタイルへの転換」に掲げておりますように、区民に対し環境に配慮した行動及び生活の実践に向けた情報提供や普及啓発を進めてまいります。 また、施策におきましても「エシカル消費の普及啓発」を重点施策として取り組んでまいります。
33	情報受発信については、子育て世代や若年世代に確実に届くよう、メールマガジンや SNS 活用、Web 会議システムで参加できるワークショップの開催などを増やし、印刷物や対面型会合に偏らないよう大幅な改善が必要である。情報受発信のみならず、ICT を活用した区政運営は with コロナ時代の「新しい日常」にも対応するため、早急な推進を求めたい。	1	今後の事業及び施策展開の際には、頂いたご意見を参考とさせていただきます。
34	「映像コンテンツの配信（YouTube）など、双方向性のある情報発信」との記載があるが、YouTube は一方的な動画配信であり双方向性はないため、「多様な媒体による効果的な環境情報の発信」に含めるのが正しい。双方向性があるのは Zoom などの Web 会議システムや、LINE、Facebook などの一部 SNS であるため、正確な記載に訂正を求める。	1	「双方向性のある情報発信」については「SNS の活用、映像コンテンツの配信（YouTube）など、」を受けた文言となります。誤解を生じにくいよう文章を修正させていただきます。

(7) その他本計画に関わる事項について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
35	現在区内で行われている各種開発では都自らも事業を分割小分けにすることにより、環境アセスメントの不要な規模にしている。アセス逃れの事業分割脱法行為をカバーする区独自の環境アセスメント導入を。	1	東京都では、一定規模以上の事業の実施に際し、公害の防止、自然環境、歴史的環境の保全及び景観の保持等について適正な環境配慮がなされるように、「東京都環境影響評価条例」に定めた環境アセスメント手続を運用しております。区におきましても同条例に基づく運用により対応しております。
36	以前環境課が行ったパブリックコメントの要約、集約は大変雑で意見提出がどう行われたのか全く跡形もなく、どのパブコメ意見にまとめられたのかもわからないものがあった。	1	ご指摘いただいた点を踏まえ、意見集約の際には細心の注意を払い意見者の質問主旨を損なうことがないように、行わせていただきました。
37	「ミライ×環境 高校生ワークショップ 実施結果報告書」だけがアプリとの相性が悪いのかダウンロードしたものの文書閲覧等ができない。検索できる型での資料公開を望む。	1	文字を埋め込み形式のPDF ファイルに更新させていただきました。
38	区が取り組む具体的な施策としては、北区の地域特性である鉄軌道の利便性の高さを最大限に引き出せるよう、都市型レンタサイクルの導入や自転車走行空間の整備、団地の高齢化に対応したコミュニティバスの導入やバス路線の再編、高齢化社会に対応した公共交通のバリアフリー化や、MaaS 等の新技術を活用した公共交通のシームレス化といった取組が考えられる。公共交通を利用したまちづくりの取組は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律により、地方自治体の役割として規定されており、2020年の法改正で「地域公共交通計画」の策定が自治体の努力義務とされた。このような時代の流れを受け、環境基本計画でも重点施策として位置づけて頂きたい。	1	ご意見の主旨から本計画本体ではなく、個別の事業展開に関してのご意見と推察されますので、事業所管課に情報共有させていただきます。 なお、前掲（No.7）のとおり、環境部門における方針として「再開発や公共施設の更新などまちづくりの機会を捉えたスマートコミュニティの検討」を重点施策として取り組んでまいります。

(8) その他

本計画等に直接関連したものではなく、個々の施策に対するご意見と推察されますので、区政に関する様々なご意見の一つとして今後の参考とさせていただきます。また、必要に応じて事業所管課への情報共有をさせていただきます。

No.	意見の要旨	件数
39	十条駅付近連続立体化の環境アセスメントでは、最終報告書で突然、騒音測定データが変更されて、それについての公的検証が行われなかったため、その最終的騒音測定値には物理的におかしな値が含まれていて信頼できない。	1
40	環境課の職員はもっと能力を向上させて、真実を見抜く力を持つ必要がある。	1
41	現行の日影規制の方法では全く別の敷地にある建物からの複合日影により、1日中日影となるような場合もありうる。新たな規制方法が必要である。	1
42	都の太陽光パネル設置義務化によりたとえ短時間でも日照を奪う事は財産を奪うことと同じとなった。	1
43	歩行者に遠回りを強いる横断歩道の廃止は、バリアーの出現であり、高D/H比は圧迫感、不快感を与え快適性を奪う。	1
44	用途地域が「商業地域」や「工業地域」であっても人の住居が認められ、むしろコンパクトシティとして推進されている以上、健康で文化的な最低限度の生活を営み個人の尊厳が守られるためには（憲法13条、25条）、これら地域を含め全ての地域で日照権等は保護されるべきであり、最低基準法である建築基準法を超える日影規制を条例で定めても問題ないし、定めるべき。	1
45	歩行の不安定な人にとってビル風は、風力、風向の変化が激しいため、転倒による死亡等をもたらす大変危険なバリアーであり、歩行環境の安全の面からも対策が必要である。	1
46	ビル風の発生源ができるのと植栽では対策できない事は各地の事例から明らかである。	1
47	シルバーセンターが行う民間向け剪定、雑草取りで出た剪定枝等も区で回収し、公園の剪定で出たものと一緒にチップや堆肥等にリサイクルし、公園で使い切れないものは区民に提供するサイクルの確立を。	1
48	避難所は国も進めるスフィア基準に準拠した施設整備が必要。	1
49	リモートワークも定着してきた今日、区内全てで一律に、居室での騒音規制の強化が必要。特に高音、低音、低周波音に対する現在の基準値は緩すぎる。工事のクレーンのウィンチ音など長時間続くくと耳につくし、耳障りである。	1
50	十条駅西口再開発や十条富士塚移設では、都市計画（地区計画）で既存樹木の維持保全が定められているにも関わらずほぼ伐採された。これでもどりや国際条約では遺伝子レベルで求められえる生物多様性を守ることができるのか。もっと環境課には強くなってほしい。	1

No.	意見の要旨	件数
51	公園管理サポーターの対象は、近隣住民でなくても利用者ならば参加できるようにして頂きたい。特にビオトープ等の生物生息地の保全を伴う公園管理は、専門的な立場の方も参加し、維持管理を長期的に継続する体制が不可欠である。	1
52	公園・緑地の指定管理者への管理委託が進んでいるが、ビオトープ等の生物生息地がある公園の指定管理者は、通常の公園管理と異なることを理解し協力してもらえることを条件とすべきである。	1
53	自転車利用者の信号無視等交通違反対策が必要。	1
54	「サイクルツリー」「エコサイクル」といった機械式地下立体駐輪場は安全性、利便性、景観などに配慮した優れた施設で、それを利用した葛西駅地下駐輪場（2008年建設）は土木学会・技術賞、全建賞（都市部門）、全国街路事業推進協議会・会長賞と数々を受けている。北区でももっと導入を。	1
55	賃貸住宅について重要事項説明書などで、断熱等級を示すことを義務付けて欲しい。	1
56	テレビ番組で電波トラブルの原因になる身近なものについて、対策と共に紹介していた。航空機のGPS、電車、防災無線等と、工事クレーンの監視カメラ、LED照明、太陽光発電の関係、スマホもトラブルに関与するといった。もし、電動アシスト自転車や車いすが電波の影響で異常行動を起こしたら大変なことになるのではと思った。電波環境についても守ってほしい。ラジオを聴きながら散歩するとかなり電波、雑音を発生する機器のある場所がある。	1